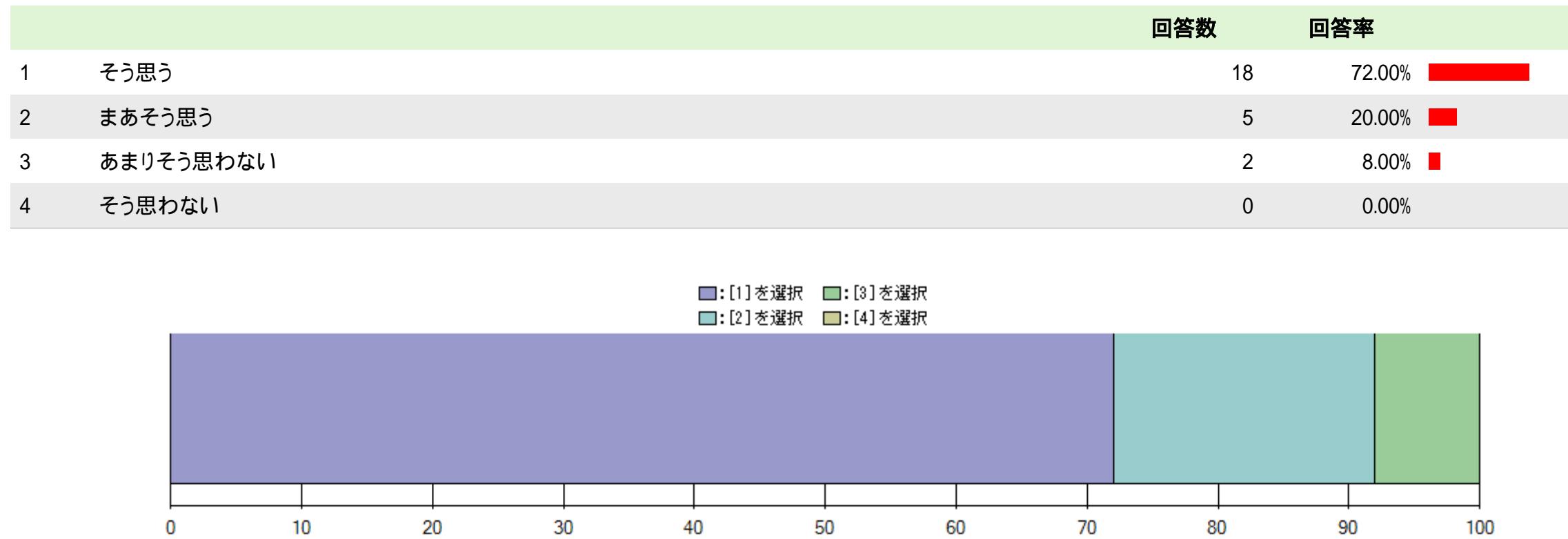
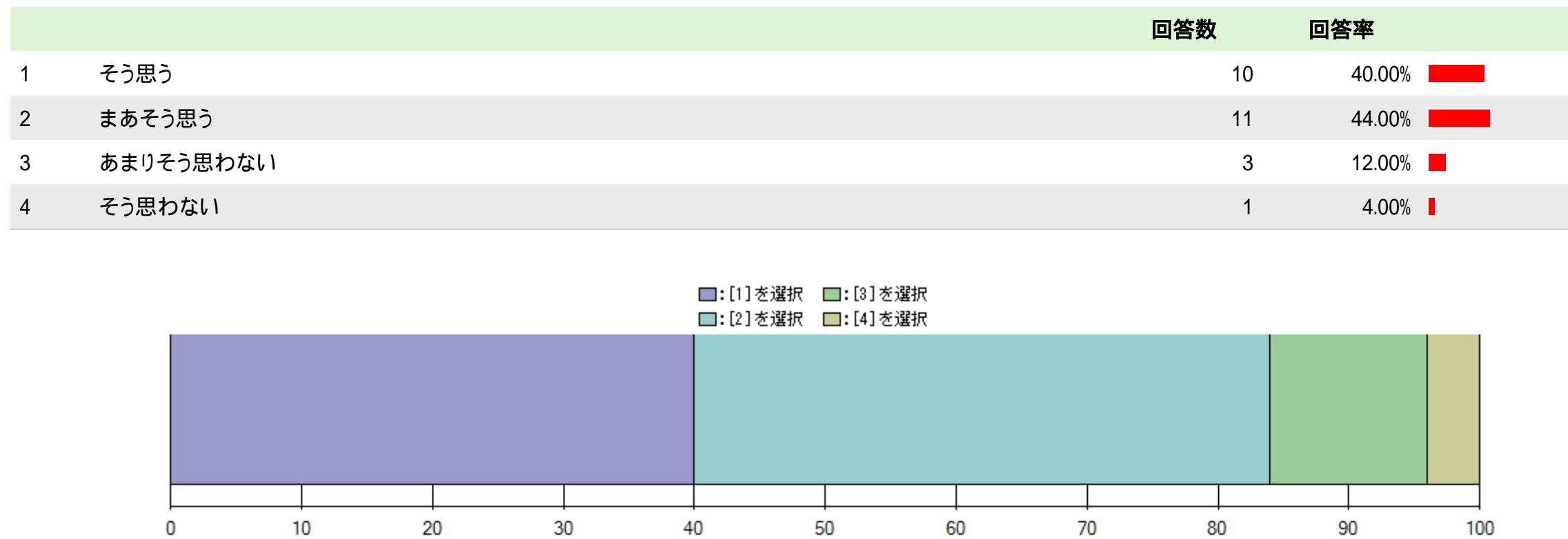


アンケートコード	4994
アンケート名	令和5年度後期授業評価の実施について(情報学部及び社会情報学部)
備考	下記の要領で令和5年度後期開講の情報学部および社会情報学部の授業について授業評価を実施します。アンケートは匿名となっています。また、授業評価の回答が成績評価に影響することはありません。学部の授業改善に役立つ建設的な意見をお寄せ下さい。1. 授業評価の目的 学生による授業評価をとおして、学部の授業の質的向上を図ることを目的とします。2. 対象授業 令和5年度前期に情報学部及び社会情報学部で開講されている専門科目の授業を対象とします。非常勤の先生が担当されている授業についても対象とします。3. 実施時期 1月9日(火)~2月29日(木)4. 実施方法 上記期間中に回答して下さい。
開講年度	2023
時間割番号	JB5013
科目名	オペレーティングシステム
担当教員	中野 真一
実施期間	2024/01/09 ~ 2024/02/29
対象	学生
匿名・記名	匿名
履修者数	85
回答数	25
回答率(%)	29.4

Q1 授業内容は興味が持てるものであった。【必須入力】



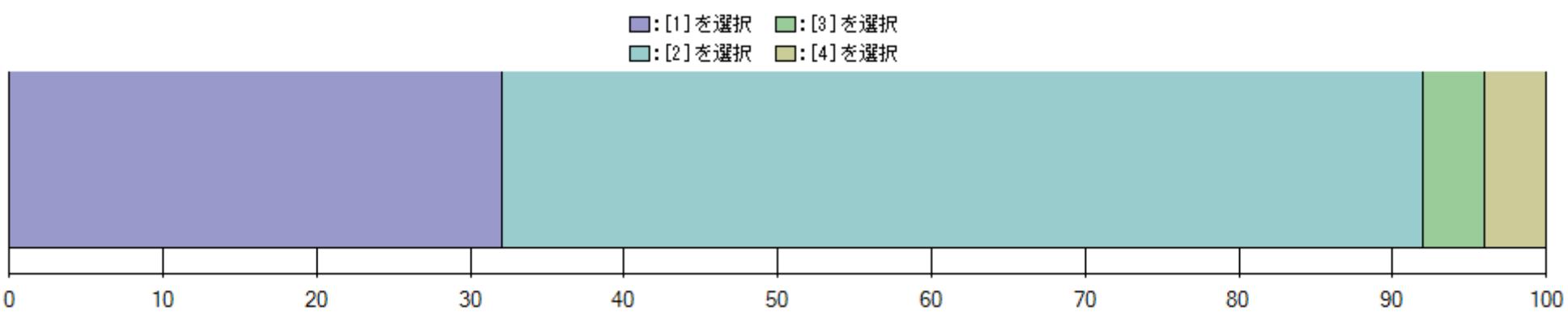
Q2 授業内容はわかりやすかった。【必須入力】



Q3 授業内容は考える力を高めた。【必須入力】

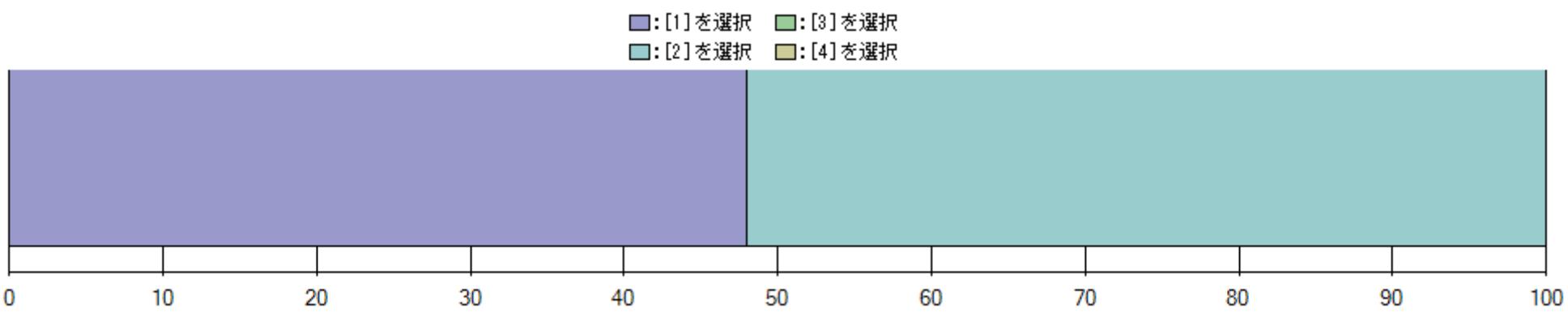
		回答数	回答率
--	--	-----	-----

1	そう思う	8	32.00%	<div style="width: 32%; background-color: red;"></div>
2	まあそう思う	15	60.00%	<div style="width: 60%; background-color: red;"></div>
3	あまりそう思わない	1	4.00%	<div style="width: 4%; background-color: red;"></div>
4	そう思わない	1	4.00%	<div style="width: 4%; background-color: red;"></div>



Q4 授業内容は将来役に立つ。【必須入力】

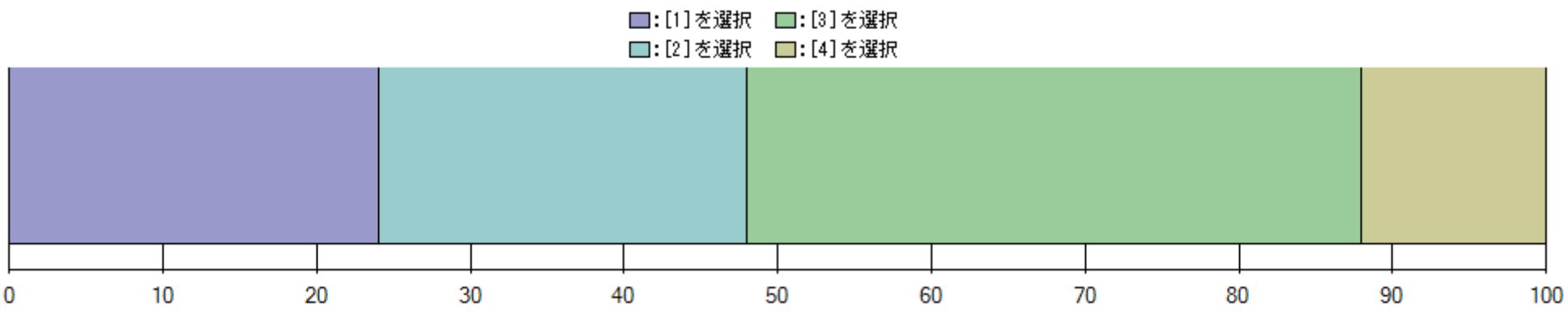
		回答数	回答率
1	そう思う	12	48.00%
2	まあそう思う	13	52.00%
3	あまりそう思わない	0	0.00%
4	そう思わない	0	0.00%



Q5 授業内容は学生の主体的な参加を促すものであった。

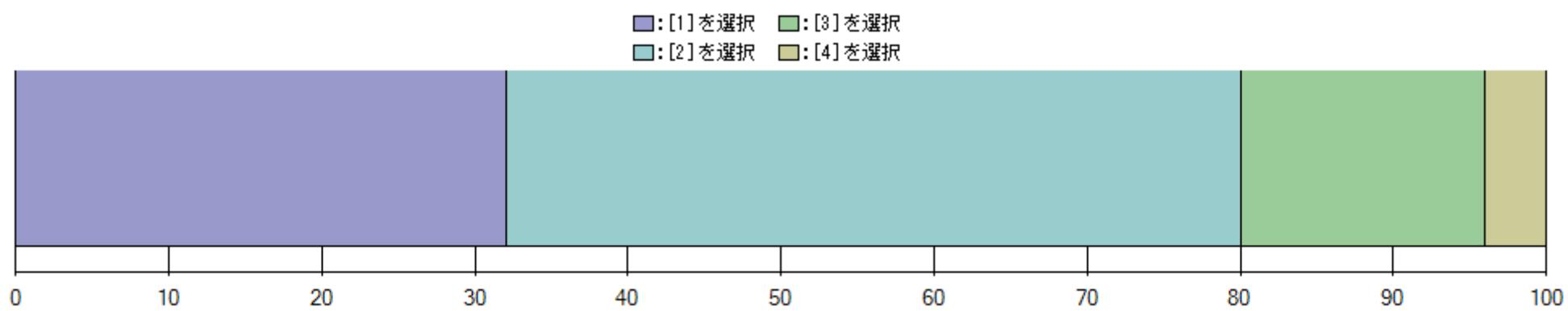
(例: プрезентーション、グループワーク、対面でのフィールドワークなど能動的な学修を取り入れている) 【必須入力】

		回答数	回答率
1	そう思う	6	24.00%
2	まあそう思う	6	24.00%
3	あまりそう思わない	10	40.00%
4	そう思わない	3	12.00%



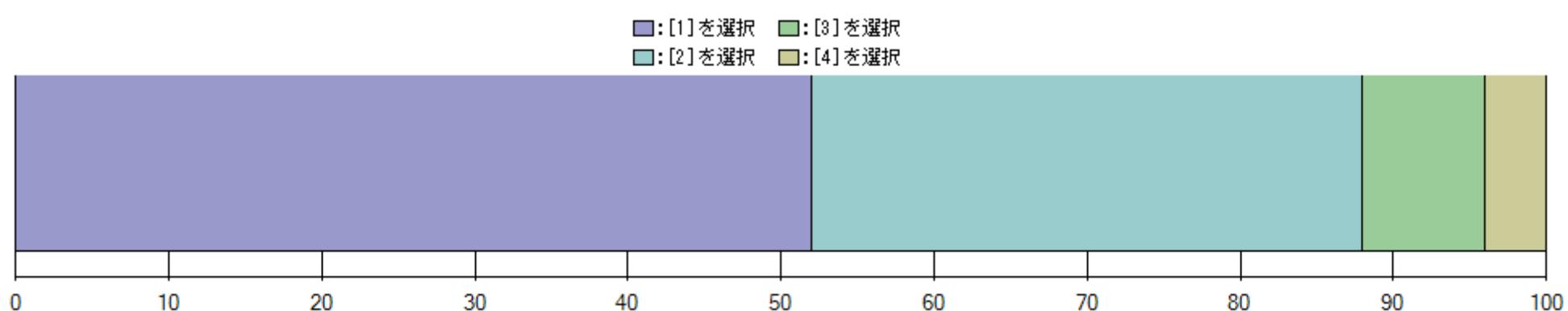
Q6 教員は学生の反応や理解度を確認しながら授業を進めていた。【必須入力】

		回答数	回答率
1	そう思う	8	32.00%
2	まあそう思う	12	48.00%
3	あまりそう思わない	4	16.00%
4	そう思わない	1	4.00%



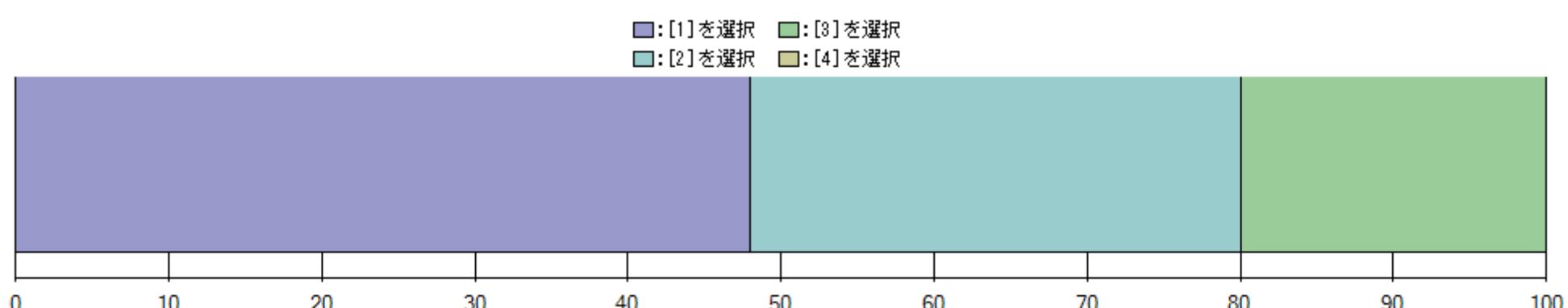
Q7 この授業を4段階で評価してください。【必須入力】

		回答数	回答率
1	優れている	13	52.00%
2	やや優れている	9	36.00%
3	やや劣る	2	8.00%
4	劣る	1	4.00%



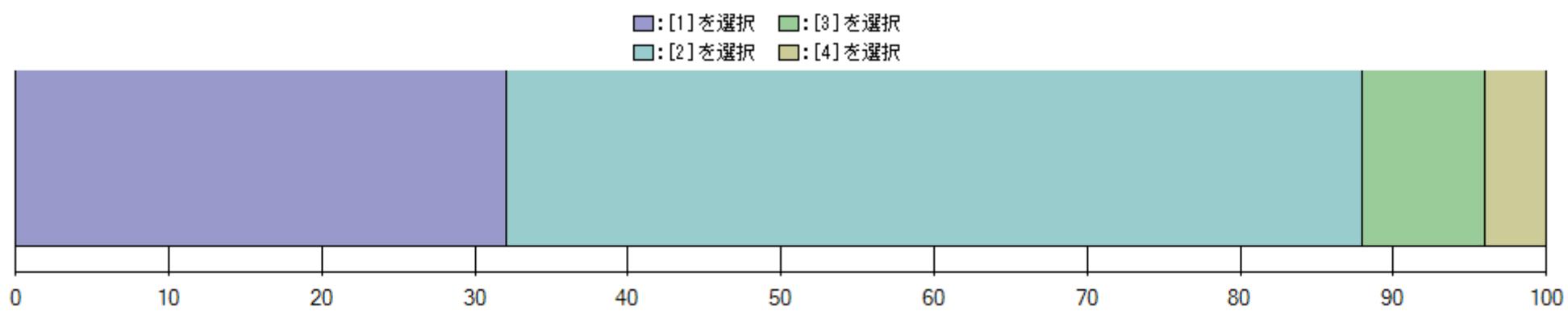
Q8 この授業の出欠状況について教えてください。【必須入力】

		回答数	回答率
1	すべて出席	12	48.00%
2	欠席は1回	8	32.00%
3	欠席は2 - 4回	5	20.00%
4	欠席は5回以上	0	0.00%



Q9 この授業に積極的に取り組みましたか。【必須入力】

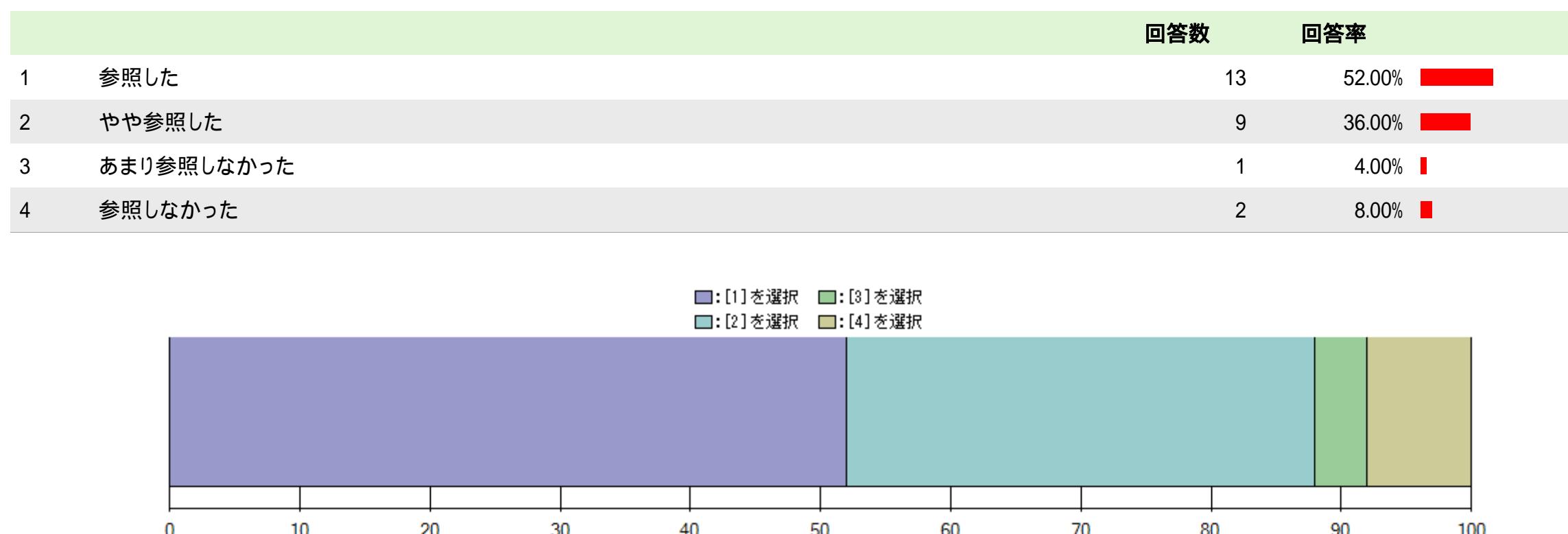
		回答数	回答率
1	非常に積極的	8	32.00%
2	やや積極的	14	56.00%
3	やや消極的	2	8.00%
4	消極的	1	4.00%



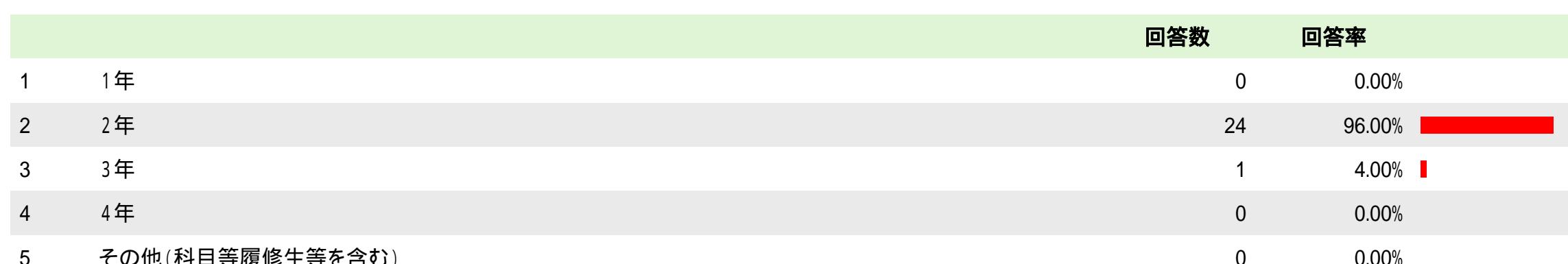
Q10 この授業に関する予習・復習に週何時間ぐらいを費やしましたか。(課題に取り組んだ時間も含みます) **[必須入力]**

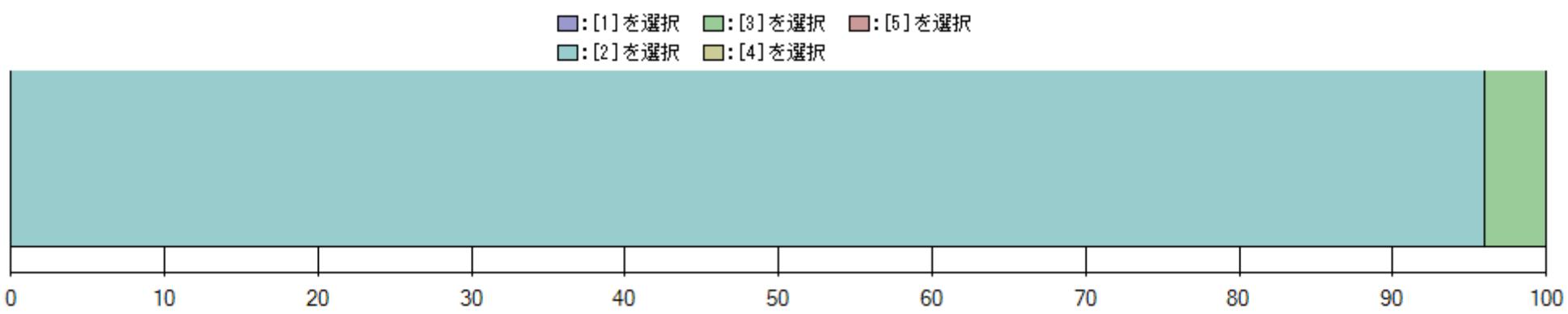


Q11 この授業の履修に際してシラバスを参照しましたか。 **[必須入力]**



Q12 学年を教えてください。 **[必須入力]**





Q13 この授業の中で、特に評価される工夫や特徴など気づいたことがありましたら、以下に記述してください。

回答

1回あたりの内容がごちゃつくことなく、多すぎない情報量で丁寧にまとめられていて頭に入りやすい講義でした。社会共創プログラムの学生でも問題なく修了できホッとしています。半年間ありがとうございました。

この授業の特徴として、スライドが見にくいため改善してほしいと思った。ラウンド・ロビン方式について復習する際授業では理解できなかつたためスライドをみかえしたがスライドを見て復習する際に苦労した。来年は、もう少し見やすいスライドを公開するようにしてほしい。

過去の授業アンケートを拝見したところ、アンケートが授業に反映されていないことが良く分かった。オペレーティングシステムという名の講義だがシステムアーキテクトも含まれてあり、講義名にふさわしくない。設計の内容を含むにしても、内容がとても薄い。実務経験に関係なく、オペレーティングシステムの解説をしてほしい。試験ではアルゴリズムの問題が出されていたが、解答の意図していないプログラム的欠陥が存在し、そもそも、なぜアルゴリズムをこのオペレーティングシステムでやる必要があるのか疑問が残る。オーバーフローやアンダーフローを扱うなら、丸め誤差、情報落ち、桁落ち、打ち切り誤差などを絡めたほうが良かったのでは。普通に、linuxやmacOS、windows、wslの歴史などをつらつら語ってほしかった。もっと言えばdockerなど。

試験がゆるゆるなので授業の内容はもっと詰め詰めでも良いと思う。プリンタのOSの話など、本には乗っていない話をもっと聞きたい。